



e-La Voz

「エー・ラ・ボス」と読みます

HCJB『アンデスの声』
メールマガジン
(第6号)

2003年4月6日発行

HCJBコンサートの夕べにご招待

HCJB日本語放送「アンデスの声」がキトの空から全世界にむけて放送されて、この5月1日でめでたく放送開始39周年を迎えます。南米から発信されるこの放送は日本以外の国からよくこえる日本語放送ということもあって根強い人気を保ってきました。とくに1970年代後半には日本で短波受信機のセールス・キャンペーンが全国的にくりひろげられ、若者がこぞって海外放送に耳を傾けました。いまはその若者たちが日本では中堅層になり、世はこぞってインターネット時代。

そこで「アンデスの声」もスタジオ・オフィスを北米に移してインターネット日本語放送に本格的にとりくむことになりました。

このコンサートはこれまでの感謝とこれからの歩みを記念してひらかれるもので、平松在エクアドル日本国大使ご夫妻にもご出席いただきます。

在留邦人の皆様、どうかご家族おそろいでお出かけください。来会をお待ちしています。

日時： 4月11日(金曜日) 午後6時半～9時

場所： HCJB Centro Larson(放送局内集会ホール)
Calle Diguja y Vozandes

コンサートのプログラム(予定)

- 思い出のアルバム：
フジTV 1976年制作ドキュメント 日本人：国際編「エクアドルにアンデスの声を見た」
- アンデスのセレナーデ： ホルヘ(チャランゴ)、道夫(ギター)、
サンドロ(パンフルート)、タイ(ボンボ)
- ゴスペル・フォーク： タイ(ボーカル)、エリック(ピアノ)
- 「アンデスの声」と私： 内田 作
- インターナショナル・プレイズ： 道夫 & アンネ・マリー
- 日本のうた： 浜辺の唄、椰子の実
- エクアドルのうたメドレー： HCJBアンサンブル(指揮：ロイス)
- コンサートのあと、祝賀ケーキをカットして来会者と歓談します。

このコンサートの模様は、5月1日(木)に短波に載せて日本向けに放送する予定です。

**日 時： 5月1日(木)日本時間20:30～21:30
周波数：【未定】(決定し次第、お知らせします。)**

在 主 尾崎一夫 久子

このメールマガジンは、HCJB『アンデスの声』日本語部の管理するメール・リストに登録されている方に無料でお送りしています。

このメールマガジンをご覧になってのご感想やご意見、ご要望などは、[HCJB『アンデスの声』日本語部](#)までお送りください。

また、このメールマガジンの配信停止、配信先変更、あるいは新規ご登録は、下の該当ボタンを選択し、必要事項をご記入の上、[この内容で送信する] ボタンをクリックして、手続きをお願いします。なお、**Netscape 6.2以降をお使いの場合、このメールマガジンに埋め込まれているご登録手続きの機能はご利用いただけません。**ご面倒ですが、[HCJB『アンデスの声』日本語部](#)まで別途メールにてお知らせください。

配信の停止 (**重要:必ず現在メールマガジンの配信登録されているメールアドレスからご送信ください。**)

配信変更先のメールアドレス
(**重要:必ず現在メールマガジンの配信登録されているメールアドレスからご送信ください。**)

新規登録するメールアドレス

お送りいただいた内容はメールリスト・サーバにより自動的に処理しますので、余分な内容は一切入れないでください。
このメールマガジンはコンテンツが大きいので、携帯電話への配信はできません。



Copyright © 2003 by HCJB. All rights reserved.

日本語ホームページ: <http://www.hcjb.org/japanese/>

Eメール: kozaki@hcjb.org.ec

郵便の宛先: HCJB, Casilla 17-17-691, Quito, ECUADOR
